

令和6年度アクション・プラン【北播磨県民局】

I 目指す姿

北播磨地域は、豊かな自然、多彩な農畜産物、伝統ある産業、歴史・文化に恵まれ、高速道路の結節点という交通の要衝を形成するなど高いポテンシャルを有している。これらの地域特性を最大限に活用し、①2025 大阪・関西万博に向けた北播磨の魅力創出、②北播磨の強みを活かした「農」と「食」の創出、③北播磨を支える人や交流基盤づくり、④誰もが安全安心に暮らせる北播磨の実現、を柱に施策を展開し、活力と元気に満ちた北播磨づくりを推進する。

【目標】

数値欄の上段(網掛)は目標値、下段は実績値

K P I	目標設定の時点	R2	R3	R4	R5	R6
農産物直売所の販売額		前年度+1億円	前年度+1億円	前年度+1億円	前年度+1億円	前年度+1億円 (5億円増加/5年間)
	31.9億円(H30)	32.8億円	32.9億円	33.1億円	R6.6頃 判明	
新規就農者数		30人	30人	30人	30人	30人 (累計150人/5年間)
	19人(H30)	31人	34人	21人	R6.8頃 判明	
観光客入込数		14,355千人	14,640千人	14,920千人	15,200千人	15,500千人 (H30の10%増)
	14,045千人(H30)	10,809千人	11,380千人	13,502千人	R6.9頃 判明	
若年層(20~39歳)の転出入数		△400人	△300人	△200人	△100人	±0人
	△487人(H30)	△994人	△1,194人	△434人	△896人	
地場産業の生産額		960億円	960億円	960億円	960億円	960億円 (H30を維持)
	957億円(H30)	846億円	869億円	891億円	R6.9頃 判明	
住んでいる地域に愛着や誇りを感じる人の割合※		63%	64%	65%	66%	67% (H30の10%増)
	60.7%(H30)	62.6%	65.7%	53.6%	52.2%	
お住まいの地域は、自慢したい地域の宝(風景や産物、文化など)があると思う人の割合※		43.6%	44.4%	45.3%	46.1%	47% (H30の10%増)
	42.7%(H30)	46.8%	42.8%	37.8%	35.5%	

※出典：「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査

II 取組の方向性

(地域の元気づくり)

北播磨地域は、日本一の酒米「山田錦」をはじめ、「黒田庄和牛」、「播州百日どり」、「ふるさと巻き寿司」などの豊かな「農」と「食」、全国疏水百選に選ばれている「東条川疏水」、日本遺産に認定された播州清水寺や一乗寺などの歴史文化財、播州織や三木金物などの地場産業、といった様々な地域資源を有している。これら地域資源は、令和7年度に開催される大阪・関西万博に向け、県を挙げて取組を進める「ひょうごフィールドパビリオン」に適しており、資源のさらなる磨きあげ、テーマ等に沿ったコンテンツの組み合わせなど、北播磨の魅力を地域内外に発信し、体験してもらうことにより、交流人口・関係人口の拡大を図り、地域の元気づくりにつなげる。

(人口対策)

北播磨地域の人口は、平成12(2000)年の298,390人をピークに減少に転じ、人口減少に拍車がかかっている。一方で、企業立地が県民局単位では3年連続第一位となるなど、産業団地の造成等による企業誘致と雇用が進みつつあり、人口もファミリー層

は転入傾向にあるなど、若い世代の回帰もみられる。また、東播磨南北道路や西脇北バイパスも開通に向け工事が進むなど、南北の交流基盤が整いつつあることから、地域の特性を活かし、定住人口の減少抑制に向け、若者の雇用の創出や移住の促進を図り、防災・子育て・医療・福祉など安全安心に暮らすことができるまちづくりを進め、地域の元気づくりを進めるなかで取り組む北播磨の未来を担う人材育成を通じて、シビックプライドの醸成を図る。

Ⅲ 具体的な取組

(地域の元気づくり)

1 2025 大阪・関西万博に向けた北播磨の魅力創出

2025 大阪・関西万博、2030 年に予定されている神戸空港の国際化に向け、北播磨の豊かな自然、多彩な農畜産物、伝統ある産業、歴史・文化等の地域資源を磨きあげ、地域内外に魅力を発信し、北播磨への理解を深め、交流人口や関係人口の拡大を図る。

【主な事業】

① フィールドパビリオンを通じた地域づくりの推進《18,450 千円》

- ・プレイヤーに光を当てたコンテンツ作成や交流の場づくり
- ・プレイヤーと連携し、新たな地域資源の発掘やイベントの開催、情報発信などに取り組む団体等を支援
- ・「東条川疏水ネットワーク博物館」フィールドパビリオン体験型プログラムの展開

② 北播磨広域観光の連携強化《7,005 千円》

- ・AI 等を活用した広域観光モデルコース提供
- ・市町が行う AR アプリを活用した周遊観光を促進する取組への支援
- ・サイクルツーリズム、ゴルフツーリズム推進
- ・DMO 設立に向けた検討

③ 東条川疏水ネットワークのさらなる展開《11,000 千円》

- ・疏水学習の推進、疏水学習デジタル教材の開発
- ・地域団体等への疏水に関する活動支援
- ・東条川疏水ネットワーク博物館会議の運営（WEB博物館の検討、活動発表会の開催等）

④ 若手経営者による次世代ビジネス創出支援《1,150 千円》

- ・若手経営者による交流会の開催、視察等に対する支援
- ・首都圏での展示・商談会出展等の販路拡大支援

2 北播磨の強みを活かした「農」と「食」の創出

北播磨の強みである酒米「山田錦」、地域特産の「ぶどう」・「黒田庄和牛」・「播州百日どり」、ふるさとの味「巻き寿司」等農産加工品などのブランド力の強化を図り、持続可能な「農」と「食」を創出する。

【主な事業】

- ①地域の宝！「山田錦」の持続可能な地域づくりによる次世代への継承（SDG s 山田錦）《5,420 千円》
 - ・山田錦の日本農業遺産への認定に向けた取組や山田錦語り部による講習会の開催
 - ・山田錦生産組織等に対する経営基盤強化支援
- ②北播磨特産品（いちご、ぶどう、もち麦、黒田庄和牛、播州百日どり等）産地化促進《4,720 千円》
 - ・新技術の導入、改善技術の普及、規模拡大実証支援等を通じた経営基盤安定強化・産地ブランド力向上
- ③北播磨「農」と「食」の魅力発信事業《8,300 千円》
 - ・各種団体が実施するPRイベントや販路拡大等への活動支援
 - ・生産者等による新商品開発・販売離陸加速支援
- ④企業の森づくり活動や管内事業所と連携した森林整備の理解促進《1,500 千円》
 - ・JR加古川線利用促進と連携したイベントの開催
 - ・管内木材を使用した製品（書架）や説明資料配付

（人口対策）

1 北播磨を支える人や交流基盤づくり

若者による地域における創造的な活動の支援やふるさと情報の発信等により、ふるさと意識の醸成を図る。また、コロナ禍で生まれた地方回帰の流れをうまく取り込み、北播磨地域への移住・定住の促進、北播磨の未来を担う多様な人材の育成とともに、JR加古川線の利用促進やインフラ整備に取り組む。

【主な事業】

- ①若者の北播磨企業への定着促進《1,100 千円》
 - ・地域企業の採用力強化に向けたセミナー、意見交換会開催
 - ・関係団体の若手職員による若者地元定着促進スクラム会議（仮称）の開催
 - ・各種団体と連携した合同就職説明会開催
- ②北播磨地域への移住・定住促進《3,432 千円》
 - ・首都圏での移住キャンペーン実施、移住希望者への情報発信強化
 - ・先輩移住者の体験談動画の発信
- ③JR加古川線の利用促進・活性化《5,100 千円》
 - ・JR加古川線の維持・利用促進に向けた駅の活性化・沿線にぎわいの創出
 - ・JR加古川線、神戸電鉄粟生線、北条鉄道利用促進協議会の運営
- ④地域づくり活動への支援《17,899 千円》
 - ・地域団体活性化、コミュニティ強化を図るための取組への支援
- ⑤播磨中央公園サイクリングコースの認知度向上《2,400 千円》
 - ・サイクルスポーツ、サイクルツーリズムの推進
 - ・自転車レースの楽しみ方がわかるガイド本及びホームページ作成

2 誰もが安全安心に暮らせる北播磨の実現

住民、事業者、行政が力を合わせ、外国人を含め地域の誰もがいきいきと暮らすため、災害に対する防災意識の高揚や不法投棄・不適正保管への地域一帯となった取組等、安全で安心に暮らすことができる「北播磨」を実現。

【主な事業】

①保健、医療、福祉の総合的推進《2,942千円》

- ・北播磨圏域健康福祉推進協議会の設置・運営
- ・北播磨県民いきいき情報システムの外国人居住者への利用拡大

②地域包括ケアシステムの推進《220千円》

- ・北播磨圏域地域包括ケアシステム推進協議会の開催
- ・介護予防・日常生活支援総合事業の充実に向けた支援
- ・地域医療連携システム「北はりま絆ネット」の運営支援

③自主防災組織の機能強化《700千円》

- ・自主防災組織役員や地域住民を対象に、避難所運営に係る体験型研修会を開催

④不法投棄・不適正保管への地域一体となった取組の強化事業《3,000千円》

- ・不法投棄防止地区の拡充、不法投棄防止活動推進員の活動支援